

政策目標1 未来につなぐひとづくり/政策2 生涯にわたる学びと活躍の推進

政策分野8 男女共同参画

目指す姿		
性別にかかわらず、多様性を尊重し、一人ひとりがその個性や能力を十分に発揮することができるまち		
施策		
施策番号	名称	関連するSDGs17のゴール
施策の内容		
施策1	男女共同参画社会の実現に向けた環境整備	    
	男女が、互いにその人権を尊重し、喜びも責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性や能力を十分に発揮できる男女共同参画社会の実現に向け、意識づくりや社会環境づくりに取り組みます。	

1 政策分野の進捗状況

重要業績評価指標の達成状況						
指標名					単位	説明又は計算式
1	男女共同参画推進事業者表彰を受けた事業者数（累計）				事業者	男女ともに働きやすい環境づくりを進める事業者を表彰する
	年度	R5	R6	R7	R8	検証
	目標	51	54	57	60	単年度の目標値3事業所に対し、毎年2～3事業所の応募があり、表彰につながっている。2事業所の応募だった年の影響で累計数が目標達成に至っていない。近年の全国的な女性活躍推進の流れを踏まえながら、関係機関と連携して事業の周知に努め、表彰者数の増加につなげていく。
	実績	48	51	-	-	
	達成率	94%	94%	-	-	
2	市の審議会等における女性委員の割合					市の審議会等の附属機関における女性委員数／委員総数
	年度	R5	R6	R7	R8	検証
	目標	30	30	30	30	女性の人材育成の取組や女性人材リスト等の活用により、政策・方針決定過程への女性の参画が増えてきているものの、実績値は伸び悩んでいる。人材リスト登録者数のより一層の充実や登録者のフォロー体制の検討、女性が参加しやすい手法の研究等をすすめながら、各所属からの依頼時に女性の選出をお願いするなど、目標達成につなげていく。
	実績	29.6	29.8	29.4	-	
	達成率	99%	99%	99%	-	

2 施策の評価

施策 1	男女共同参画社会の実現に向けた環境整備
主な取組状況と成果	【1】男女共同参画推進プランの推進 ・第6次市男女共同参画推進プランに基づき、各施策・事業を実施することにより、あらゆる分野における男女共同参画の意識の浸透を図っている。 【2】男女共同参画の視点に立った教育・学習の推進 ・子ども人生講座、男女平等に関する作文コンクール、出前講座等を実施し、学校教育・生涯学習等において男女共同参画意識の醸成を図っている。 【3】仕事と生活の調和を図るための環境の整備 ・子育て支援や介護サービスの充実をはじめ、「男女共同参画推進事業者表彰」やセミナー等の実施による事業者への意識啓発や男性向けの家事・育児講座等の実施などを通じ、男女がともに働きやすい職場・家庭環境づくりを推進している。 【4】政策・方針決定過程への女性の参画拡大 ・エンパワーメント講座等により女性の人材育成や起業・就労支援等を行うとともに、市政や地域貢献に関心のある女性の人材情報をまとめた「女性人材リスト」への登録と活用を通じ、市の政策・方針決定過程の場への女性登用の機会拡充を図っている。また、「働き方改革」の取組の一環として、市役所における女性職員の管理・監督職への登用に努めている。 【5】多様なSOGIをふまえた男女共同参画意識の醸成 ・市のホームページや市政だよりなど、分かりやすい広報・啓発活動に取り組んでいる。また、会津図書館内に男女共同参画コーナーを開設し図書館利用者への分かりやすい情報発信を行っている。 ・セミナー等を通じ、性的マイノリティや性と生殖に関する健康・権利（リプロダクティブ・ヘルス/ライツ）に関する理解や意識の醸成に取り組んでいる。
課題認識と今後の方針・改善点	【1】男女共同参画推進プランの推進 ・男女共同参画の推進状況について、毎年、取組状況や各種指標の実績、成果や課題等について取りまとめ、公表するとともに、男女共同参画審議会等、市民の意見をいただき、取組の検証や見直しを行いながら適切な進行管理に努めていく。 【2】男女共同参画の視点に立った教育・学習の推進 ・人権や男女平等といった普遍的な価値観の理解へ、引き続き、子ども人生講座や男女平等に関する作文コンクールを実施し、子どもの頃からの意識の醸成を図っていく。 【3】仕事と生活の調和を図るための環境の整備 ・事業者における女性の雇用・活躍の推進や男性の家事・育児参加の促進などを進め、男女がともに働きやすい職場・家庭環境づくりにつなげていくため、関係課や関係機関等と連携しながら、表彰制度やセミナー等を通じて、仕事と家庭生活とを両立し、市民がより充実した生活となるよう支援していく。 【4】政策・方針決定過程への女性の参画拡大 ・女性があらゆる分野で活躍できるよう、エンパワーメント講座等のさらなる充実を図り、地域の女性のスキルアップやリーダーシップの醸成を図るとともに、市の審議会等における女性委員の割合向上のため、各所属からの依頼時に女性の選出をお願いしながら、「女性人材リスト」のさらなる充実・活用を図っていく。また、市自らが、すべての職員が働きやすい職場づくりなどを進め、女性職員の管理・監督職への登用に努めていく。 【5】多様なSOGIをふまえた男女共同参画意識の醸成 ・性に関する固定観念や偏見により困難な立場におかれている人々の人権が尊重されるよう、引き続き、市ホームページや市政だより、会津図書館内に男女共同参画コーナーの設置など、市民へ分かりやすい広報・啓発活動に取り組むとともに、性的マイノリティや性と生殖に関する健康・権利（リプロダクティブ・ヘルス/ライツ）に対する理解促進のため講演会やセミナーを実施していく。

3 関連する政策分野と事務事業

政策分野	事務事業名	担当部・課名

4 第7次総合計画の期中総括

○主な成果

・男女共同参画推進プランに基づき、部局横断的な取り組みを推進することで、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方に対し、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」と否定的な回答をした市民が平成29年度の59.6%から令和4年度には73.3%へと上昇するなど、市民意識の変化につながっている。

・事業者に対し、ワーク・ライフ・バランスの推進や女性管理職登用をテーマとしたセミナーの開催、「男女共同参画推進優良事業者表彰」等の取組を行うとともに、子育て支援・介護サービスの充実、男性の家事や地域参加を促す講座、女性のエンパワーメント講座、DVやハラスメントの防止に向けた啓発及び相談支援体制の整備、LGBTQ+への理解増進に向けた啓発など様々な取組を進め、性別に関わらず誰もが自分らしく生きられる環境づくりに寄与することができた。

○課題

・「男女共同参画」や「セクシュアル・マイノリティ」などについて、「言葉として知っているが、意味までは理解していない」市民も一定数おり、用語の認知は進んでも、その背景にある意味や当事者の状況への理解、性的マイノリティの方々の身近な相談支援体制の構築等には課題があることから、知識としての理解だけでなく、具体的な行動変容につながるよう、引き続き、学校や職場、地域における学習機会の創出や関係機関等との連携強化、相談窓口等の周知等を進め、「女性は家庭、男性は仕事」といった、固定的性別役割分担意識の解消やDV、ハラスメント等の人権侵害の防止に努める必要がある。

・人口減少対策の視点からも女性の雇用機会の創出や格差是正等の取組は重要であることから「女性人材・起業家育成支援事業」の実施や、国・県との連携による相談支援の機会の充実や支援制度の周知等により、女性のさらなるキャリアアップや就労・生活面での困難、格差解消等に取り組みながら、子育て支援や介護サービス等の充実を図るとともに、男性向けの家事・育児・介護講座の開催などにより、性別によらず誰もが過度な負担を感じずに家事や家族のケアに取り組める環境づくりを整備し、企業や地域におけるさらなる女性活躍の一層の推進につなげる必要がある。

5 最終評価

政策分野8「男女共同参画」の推進にあたっては、男女共同参画推進プランに基づき、部局横断的な取組を推進することにより、市民意識の醸成につなげていく。また、外部評価にもあるように、知識としての理解だけでなく具体的な行動変容につながるよう、引き続き、学校や職場、地域における学習機会の創出や関係機関等との連携強化、相談窓口等の周知等をはじめ、固定的性別役割分担意識の解消やDV、ハラスメント等の人権侵害の防止に努めていく。

6 事務事業一覧

番号	ロジック モデル	主要 事業	人口減 少対策 ※	SDGs ターゲ ット	事務事業名	次年度 方針	担当部・課
施策1 男女共同参画社会の実現に向けた環境整備							
1			基本目標4	5.1	男女共同参画推進事業（男女共同参画推進プランの推進）	継続	市民部・市民協働課
2			基本目標4	4.7	男女共同参画推進事業（男女共同参画の視点に立った教育・学習の推進）	継続	市民部・市民協働課
3			基本目標4	5.1	男女共同参画推進事業（仕事と生活の調和を図るための環境の整備）	継続	市民部・市民協働課
4			基本目標4	5.5	男女共同参画推進事業（政策・方針決定過程への女性の参画拡大）	継続	市民部・市民協働課
5			基本目標4	5.1	男女共同参画推進事業（多様なSOGIをふまえた男女共同参画意識の醸成）	継続	市民部・市民協働課
6			基本目標4	5.1	男女共同参画推進事業（地域活動における男女共同参画の環境づくり）	継続	市民部・市民協働課

※人口減少対策に資する事業として、「第3期 会津若松市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の4つの基本目標に位置付けた取組を記載しています。

基本目標1 既存産業・資源を活用した魅力的なしごとづくり

基本目標2 地域の個性を活かした新たな人の流れの創出

基本目標3 生活の利便性を実感できる安全・安心なまちづくり

基本目標4 結婚・出産・子育て支援と教育環境の整備

施策1 男女共同参画社会の実現に向けた環境整備

	事業名	男女共同参画推進事業（男女共同参画推進プランの推進）		法定／自主	自主
	担当部・課	市民部・市民協働課		次年度方針	継続
	概要 (目的と内容)	性別にかかわらず、多様性を尊重し、一人ひとりがその個性と能力を十分発揮できるまちを目指し、男女共同参画推進プランに基づき、各施策・事業を計画的に推進する。	財務内容 単位(千円)	令和7年度 (予算)	令和8年度 (見込み)
			事業費	182	182
			所要一般財源	182	182
概算人件費			1,187	1,187	
1	これまでの 取組状況 (主な取組と 成果)	市民意識調査・ワークショップ等を実施し、第6次市男女共同参画推進プラン（計画期間：令和6年4月～令和10年3月）を策定した。また、プランの一部を女性活躍推進法に基づく市町村推進計画及び配偶者暴力防止法に基づく市町村基本計画として位置付けた。 プランの推進により、女性に対する相談や就労機会の充実をはじめ、家事・育児への男性の参画、多様な性への理解増進など、地域や学校、企業等における男女共同参画への意識向上やジェンダーギャップ解消に向けた様々な取組の実施につなげている。			
	事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・ 改善点)	男女共同参画推進プランの取組状況や成果指標の達成状況等について取りまとめ、副部長会議を主体とする「男女共同参画行政連絡会議」や「男女共同参画審議会」において部局横断的な評価検証を行いながら、適切な進行管理を進めていく。			
	事業名	男女共同参画推進事業（男女共同参画の視点に立った教育・学習の推進）		法定／自主	自主
	担当部・課	市民部・市民協働課		次年度方針	継続
	概要 (目的と内容)	学校教育や生涯学習などでの学習機会の充実を図るとともに、人権尊重や男女平等の意識の醸成を図り、誰もが性別にとらわれずいきいきと生きることのできる社会を目指す。	財務内容 単位(千円)	令和7年度 (予算)	令和8年度 (見込み)
			事業費	765	765
			所要一般財源	765	765
概算人件費			4,987	4,987	
2	これまでの 取組状況 (主な取組と 成果)	「子ども人生講座」や「男女平等に関する作文コンクール」等の取組により、市内の小中学生に対し、多様性や人権尊重、男女平等に関し学んだり考えたりする機会を創出するとともに、男女共同参画に関する出前講座により、高校生や大人に対し男女共同参画の考え方や取組への理解を促進した。 こうした取組により、性別にかかわらず自分らしく生きられる社会づくりに向けた意識の醸成につながっている。			
	事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・ 改善点)	人権や男女平等といった普遍的な価値観の理解には、人格や価値観、人生観などが形成される子どもの時期に加え、ライフステージの様々な場面で学ぶ機会があること必要であるため、引き続き、「子ども人生講座」や「男女平等に関する作文コンクール」、「出前講座」等を実施し、男女共同参画に関し学ぶ機会の創出に努めていく。			
	事業名	男女共同参画推進事業（仕事と生活の調和を図るための環境の整備）		法定／自主	自主
	担当部・課	市民部・市民協働課		次年度方針	継続
	概要 (目的と内容)	各事業所内におけるワーク・ライフ・バランスの推進や男女がともに、働きやすい環境づくりを推進する。	財務内容 単位(千円)	令和7年度 (予算)	令和8年度 (見込み)
			事業費	94	94
			所要一般財源	94	94
概算人件費			613	613	
3	これまでの 取組状況 (主な取組と 成果)	平成16年度から男女共同参画推進事業者表彰を実施し、令和6年度は、新たに3事業者を表彰、表彰事業者は累計で51事業者になった。表彰事業者の取組を市政だよりや市ホームページに掲載し、他事業者への取組の普及を図った。また、表彰事業者のフォローアップを兼ねた交流会を開催し、男女がともに働きやすい職場環境づくりについて意見交換を行い、さらに取組を進めるきっかけづくりとした。この他、男性の家事・育児への参加を促すための男性むけ料理教室などの講座を開催した。			
	事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・ 改善点)	男女共同参画推進事業者表彰受賞者の取組紹介やフォローアップなど、男女がともに働きやすい職場環境づくりを推進する。また、ワーク・ライフ・バランスの充実が進むよう、関係機関とともに事業者への啓発や一人ひとりの意識改革へ向けた取組を進めていく。特に、先進的に取り組む企業の優良事例について、他の企業の参考になるような紹介の手法を検討しながら、ホームページを活用した情報提供などに取り組む。			

4	事業名	男女共同参画推進事業（政策・方針決定過程への女性の参画拡大）		法定／自主	自主
	担当部・課	市民部・市民協働課		次年度方針	継続
	概要 （目的と内容）	「エンパワーメント講座」の開催や「女性人材リスト」の活用、「活躍女性ロールモデルの紹介」等を通じ、市の審議会をはじめ、ビジネスや市民活動など様々な分野への女性の参画を促進していく。	財務内容 単位(千円)	令和7年度 （予算）	令和8年度 （見込み）
			事業費	46	1,546
			所要一般財源	46	421
概算人件費			300	300	
これまでの 取組状況 （主な取組と 成果）	女性が市政や地域などの様々な場へ積極的に参画できる能力を高めるためのエンパワーメント講座を開催してきた。また、市政への女性の参画促進のため、市政や地域貢献に関心のある女性に事前登録いただき、審議会委員の選出や各種ワークショップメンバー募集などに際し、各所管課へ情報提供する「女性人材リスト」の活用を進めている。さらに、令和6年度からは提案型協働事業として女性向け起業・創業スタートアップ支援事業を実施し、女性の能力発揮、人材育成の拡充に向け取り組んでいる。				
事業の検証 （課題認識/ 今後の方針・ 改善点）	審議会等における女性参加率の向上のために「女性人材リスト」の充実や活用を進めるとともに、市の女性職員の管理・監督職の登用に努めていく。また、より多くの女性が社会やビジネス分野でリーダーシップを発揮し活躍できるよう、幅広い分野の知見を学べる機会の創出するため、これまで提案型協働事業で実施してきた起業・創業支援の拡充に向けて検討していく。				
5	事業名	男女共同参画推進事業（多様なSOGIをふまえた男女共同参画意識の醸成）		法定／自主	自主
	担当部・課	市民部・市民協働課		次年度方針	継続
	概要 （目的と内容）	男女共同参画への理解を深め、それぞれが主体的に意識を持ってそれらを実践できるよう、効果的な広報・啓発活動を推進する。 男女共同参画の推進に必要な調査等を実施し、本市の現状や課題を把握して施策に反映させる。	財務内容 単位(千円)	令和7年度 （予算）	令和8年度 （見込み）
			事業費	4	4
			所要一般財源	4	4
概算人件費			26	26	
これまでの 取組状況 （主な取組と 成果）	市ホームページや市政だよりなど、多様な媒体を活用し、分かりやすい広報・啓発活動に取り組んできた。また、会津図書館内に男女共同参画コーナーを開設し関連図書を通じた意識醸成に努めている。				
事業の検証 （課題認識/ 今後の方針・ 改善点）	引き続き、国や県と連携しながら、無意識の性的役割分業意識（アンコンシャスバイアス）の解消や性的マイノリティ、性と生殖に関する健康・権利（リプロダクティブ・ヘルス/ライツ）について市ホームページや市政だより、関連図書を通じて周知啓発を行うとともに、理解促進のため講演会やセミナーを実施していく。				
6	事業名	男女共同参画推進事業（地域活動における男女共同参画の環境づくり）		法定／自主	自主
	担当部・課	市民部・市民協働課		次年度方針	継続
	概要 （目的と内容）	男女共同参画の理解促進や意識啓発のため、地域で活動する市民団体や個人等を支援する。	財務内容 単位(千円)	令和7年度 （予算）	令和8年度 （見込み）
			事業費	153	203
			所要一般財源	153	203
概算人件費			998	998	
これまでの 取組状況 （主な取組と 成果）	男女共同参画推進に取り組む市民団体等の活動の促進やネットワークづくりに向け、「男女共同参画推進活動ネットワーク会議」を開催し、各団体の取組情報の共有や勉強会等の活動の支援を行うとともに、「男女共同参画社会づくり推進活動支援補助金」により、各団体の国等の研修参加や市民向けの啓発活動等の取組を支援した。 また、各町内会へ地域で活躍する女性区長を紹介するチラシを送付し、自治会の役職等を性別で固定しない意識の啓発を行った。				
事業の検証 （課題認識/ 今後の方針・ 改善点）	男女共同参画社会の推進には、地域活動を行う市民団体等とともに取り組んでいくことが重要であることから、引き続き、男女共同参画を推進している市民団体等で構成する「男女共同参画推進活動ネットワーク会議」の開催や町内会等における女性活躍の推進、「男女共同参画社会づくり推進活動支援補助金」による男女共同参画につながる講座等の開催を支援することで、地域全体で男女共同参画への意識啓発を図っていく。				